

クロスオーバーSUV『エクリプス クロス』に搭載の「進化した PHEV システムと S-AWC」が 2022 年次「RJC テクノロジー オブ ザ イヤー」を受賞

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、クロスオーバーSUV『エクリプス クロス』に搭載している「進化した PHEV システムと S-AWC」が NPO 法人日本自動車研究者・ジャーナリスト会議(RJC)が主催する 2022 年次 RJC カー オブ ザ イヤーにおいて「RJC テクノロジー オブ ザ イヤー」を受賞したことを発表しました。



『エクリプス クロス』

受賞理由について RJC は、①世界各国で発売され、高い評価を得ているアウトランダー PHEV のツインモーター4WD+車両運動走行制御システムの S-AWC をエクリプス クロス用に最適化したこと、②PHEV モデルならではの高い静粛性や力強く安定した走行性能を引き出し、車両重量を感じさせない軽快な加速感ときびきびとしたハンドリングをもたらす技術を評価しています。

当社は環境に配慮した安全・安心で快適なクルマを追求し、三菱自動車らしいクルマづくりを推進しています。電動化技術と四輪制御技術はその中心となる技術であり、『エクリプス クロス』の PHEV モデルに搭載する「進化した PHEV システムと S-AWC」に凝縮されています。

三菱自動車が「RJC テクノロジー オブ ザ イヤー」を受賞するのは、『ギャラン』『エテルナ』の INVECS (1993 年次)、『FTO』の INVECS II+スポーツモード AT (1995 年次)、『ギャラン』『レグナム』の GDI エンジン (1997 年次)、『アウトランダーPHEV』のプラグインハイブリッド EV システム (2014 年次) に続き、8 年ぶり 5 度目の受賞となります。

『エクリプス クロス』の車種サイトはこちら：
<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/eclipse-cross/>

以 上